

(5部決勝 津井—三木、11月21日)
正しいチャージでせりあう津井と三木チームの両選手



ファイトみせた淡路 中学は神戸F C 圧倒

兵庫県少年大会

第9回兵庫県少年大会は11月14、21の両日、御崎少年グラウンドなど神戸市内の4会場に分かれて熱戦をくり広げた。初日は雨のなか寒さもきびしかったが、各地の代表は日ごろきたえた力と技を十二分に出しきった。小学生は地域のレベル差がなく、4部では1回戦のすべての試合が同点のままPK戦で決まる



OBもハッスル 2部優勝は新顔大丸 ＝神戸市レク・リーグ＝

51年度レクリエーションリーグは決勝戦は11月23日、神戸中央球技場で行われ、3部は神戸大丸が、また2部は兵庫教員が優勝した。レクリエーションリーグは神戸市協会が主催する市民サッカー振興のプログラムの一つで、仕事の都合などで社会人リーグには参加できないチームや、OB選手を対象としたユニークな大会。予選リーグは7、8月に消化しており、各部の上位2チームが決勝を争った。

3部は神友と大丸の対決となった。神友はこの大会の常連で大阪ガスのチーム。3交替勤務のため全員が顔をあわせるのはめずらしいが、社会人リーグでも通用するレベルを持っている。大丸は今年はいじめて参加した。同志社大学の元レギュラー選手が数名いて、実力はかなり高い。

2部の決勝は終始なごやかなムードの中でキックオフ。日ごろ協会役員や審判員として忙しい往年の「名プレイヤー」も顔をつらね、感慨深げにボールをけた。国際審判員の木

村直先生もこの日は「プレイヤー」に早がわり。年だから無理をしないでの声もよそに「若さ」にものを言わせて、巧みなフェイントで相手をかわすと、やんやのかっさいを浴びた。神戸市協会理事長の一北先生はウベゼー顔負けのヘディングなどで2点を決め、まだ現役でプレーできるのではないかと自信を深めた様子。試合後のベンチはいつまでも歓声が消えなかった。

3部決勝 (19～29歳)

神戸大丸 2 - 2 神 友

2部決勝 (30歳以上)

兵庫教員 3 - 3 神戸F C ベテランズ

予選リーグの成績で大丸と兵庫教員が優勝



年齢を感じさせない動きでパスコースへ走る木村選手
(2部決勝 兵庫教員—神戸F C、11月23日)

目みはる地方勢の活躍

大会競技委員長 西林 恵三

今年は非常に盛りあがりをもたせ、充実した大会を運営することができました。兵庫協会が一致協力して応援くださったお陰であり、厚く感謝しています。淡路、竜野がファイトをみせ、神戸などのチームをおそれず、見事な成績をおさめたことは、兵庫全体のレベルが確実に向上していることをはっきり物語っていることを示すものだと思います。(談)



第9回兵庫県少年大会結果

1部 (中学2、3年)

神戸	3	5
竜野	1	0
淡路	キケン	0
尼崎	4	0
西宮	1	0
三木	1	0

優勝 神戸F C ジュニアA

2部 (中学1年)

淡路	2	5
神戸	4	3
尼崎	キケン	2
三木	6	1
竜野	0	0
西宮	0	0

優勝 神戸F C ジュニアB

3部 (小学6年)

西宮	PK	3	0
三木	③	2	3
淡路	1	5	0
神戸	1	1	0
姫路	5	1	0
尼崎	1	2	0
竜野	2	1	0
石	1	0	0

優勝 みなとスポーツ少年団

4部 (小学5年)

三木	PK	2	0
淡路	②	0	1
西宮	PK	0	1
神戸	①	1	PK
竜野	①	2	①
尼崎	PK	1	0
姫路	PK	0	1

優勝 携保スポーツ少年団

5部 (小学4年)

淡路	4	5
西宮	0	7
姫路	0	0
神戸	6	0
竜野	1	0
石	0	0
三木	1	5
尼崎	0	0

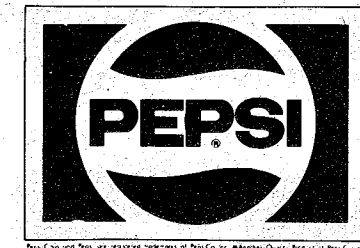
優勝 津井スポーツ少年団

女子

神戸	優勝
三木	北五葉

編集後記

☆ 師走。このことばを耳にするだけで、なんとなく忙しい気持ちになってしまう。特に今年は、総選挙があわただしさを増幅させた。☆ 少年、中学から高校、社会人に至るまで積極的な活動を展開し、この一年多くの成果をあげた。これをステップに、来年も大きくジャンプしたいものだ。☆ 王様ペレがやってきた。ゴールを期待したファンには、ちょっぴり物足りなさも……☆ 12月30日は恒例の天皇杯準決勝が神戸で行われる。51年最後を飾るビッグゲームに神戸球技場は大いに沸くことだろう。楽しい冬休みももうすぐ。社会人の方は忘年会が続きますが、残りの日々も有意義に。では、皆さまどうぞよいお年を。(ウ)



全国高校選手権兵庫県大会

51年度全国高校サッカー選手権大会兵庫県予選最終日は11月21日、神戸中央球技場で決勝戦が行われ、神戸が葦合を下して2年連続で25度目の全国大会出場権を獲得した。

守りの葦合が攻めの神戸で興味のある内容となり、試合はキックオフ開始から神戸の猛攻が続いたが、葦合の堅実な守りで無得点のまま時間が過ぎた。神戸は前半終了直前に、厚田のセンタリングを桜木がヘディングで決めて優位に立ち、後半、葦合の反撃を抑え、逆に柴田がダメ押しのシュートをあげそのまま逃げ切った。

葦合を破って兵庫代表に輝く神戸高▶

神戸25度目の栄冠

葦合、武庫工の善戦光る

葦合は神戸のウイークポイントであるバックスを切り崩せず、神戸の強力FW陣にしてやられた。神戸は厚田、柴田の両ウイングが再三にわたりタッチライン沿いに深く切り込み、中央へ折り返すのだが、ゴール前の突めがあまく得点をあげることができない。やうとゴールを決めたのは前半残り時間わずかのところ、2年生ながらセンスのある厚田からあがったセンタリングを、エース桜木が鮮やかに決めて先手を取った。

この1点がかえって神戸の選手の動きを鈍くし、後半に入ると葦合もリズムをつかみ、阪本を中心によい攻撃を組み立てたが、両ウイングに鋭さがみられず、またFWの選手にトライしようとする意気込みが欠け、得点をあげるまでには至らなかった。両チームともこう着状態が続いたが37分、柴田が右からドリブルでゴール前に突っ込み、左足で追加点を決めた。

今年も予想どおり神戸の優勝で幕を閉じたが、神戸は決して楽に勝ち進んだわけではなかった。特に、準決勝の武庫工には2点とも



▲ヘディングでゴールをねらう桜木
(決勝戦 神戸—葦合、11月21日)

先行され、薄氷をふむ思いであった。中盤に林の戦術眼を生かし、トップの桜木が自ら得点するとともに、両ウイングをうまく動かした。なかでも左ウイングの2年生厚田は、この大会でひととき注目をあび、将来が期待されている。足が速くみえるのだが、ボールをもった時の動きは素早く、何といってもサッカーをよく知っており、神戸の勝敗は厚田のプレーにかかっているといってもよい。

葦合は戦前の予想ではあまり評価されていなく、また例年ほど総合力も高くなかったが、全員が忠実にプレーする態度は高校生らしく

全国高校選手権兵庫県大会結果

(2回戦以降)

長赤	2	5	3	1	2	4	0	5	4	2	3	10	0	2	6
赤	1	0	0	2	7	3	0	1	2	1	0	3	0	0	0
白	0	2	6	7	③	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0
島	2	2	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
根	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
原	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
本	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
港	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
台	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
商	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
用	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
野	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
神	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
戸	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宮	2	6	1	2	PK	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北	2	7	3	7	③	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0

見ていて気持ちがよかった。ただ、ボールに対する執着心と相手ゴールを強引に割ろうとするチャレンジ精神がほしい。

このほか、目立ったチームをいくつかあげてみよう。武庫工戦で延長の末PKで涙のんだ明石南や攻撃型の御影、それに1、2年に優秀な選手の多い淡路の三原などは、これからの活躍が期待できる。いずれも指導者が熱心で、選手がその方針をよく理解し始め、独特のチームカラーを作りつつある。

初戦は相模工大付 全国大会

今年度から本大会は、開催地を大阪から東京に移して元旦から8日まで行われるが、神戸は1回戦で神奈川代表の相模工大付属高と1月4日、対戦する。県大会の試合を見るかぎり苦戦は免れないが、神戸としては相手よりも先にボールに触れることを心がける必要がある。この気力が勝敗を決しよう。2、3点の失点は覚悟しなければならぬ。桜木に続く厚田が好調であり、林の落ちついた判断が生かせれば、活路もでてこよう。

久ヶ

対戦相手	勝	敗	PK	勝率
庄	6	0	0	1.00
陵	0	0	0	0.00
木	0	0	0	0.00
口	9	5	0	0.64
美	6	3	0	0.67
梅	2	1	0	0.67
津	1	1	0	0.50
保	1	1	0	0.50
原	3	0	0	1.00
丘	0	0	0	0.00
野	5	3	0	0.62
成	1	1	0	0.50
道	3	0	0	1.00
鷺	4	1	0	0.80
口	1	1	0	0.50
倉	5	4	0	0.56

優勝
塚口中

対戦相手	勝	敗	PK	勝率
伊	2	0	0	1.00
大	4	1	0	0.80
上	7	1	0	0.87
神	5	1	0	0.83
鷹	1	1	0	0.50
三	3	2	0	0.60
由	1	1	0	0.50
新	1	0	0	1.00
立	2	0	0	1.00
関	0	0	0	0.00
水	5	0	0	1.00
上	1	0	0	1.00
八	0	0	0	0.00
姫	0	0	0	0.00
西	12	7	0	0.63

伊丹 西北 (北摂)
大上 北 (尼崎)
上 北 (西宮)
神 属 (神戸)
鷹 匠 (神戸)
三 木 (北播)
由 良 (淡路)
新 宮 (姫路)
立 花 (尼崎)
関 学 (西宮)
水 上 (丹有)
上 原 (西宮)
八 代 (北播)
姫 路 東 (姫路)
西 神 戸 朝 鮮 (神戸)